

大きな「門松」を設置しました

12月14日、山都警察署において交通安全協会及び地域交通安全活動推進委員の方々が、高さ2.5メートルにも及ぶ門松を設置しました。

令和4年中は、町内では痛ましい交通事故が発生し、県内では還付金詐欺やオレオレ詐欺、サポート詐欺など電話による『お金』詐欺の被害も続発しました。参加した方々は、「令和5年は、交通事故や犯罪被害、火災が1件でも少なくなるように」と安全で安心して暮らせる山都町を祈願していました。



天体用カメラ「ライトシュミット」のケースを寄贈

11月26日、清和高原天文台に寄託されている天体用カメラ「ライトシュミット」専用の空調機能付保管ケースを『熊本星を見る会』より寄贈されました。

「ライトシュミット」とは、清和高原天文台の初代台長である故宮本幸男さんが、約50年前にアマチュア天文家として独学で設計し、日本で初めて作り上げた天体用カメラです。この木製の「ライトシュミット」を参考に、その後、望遠鏡メーカーの製品が作られたといわれています。

熊本星を見る会の八坂さんは、「50年以上も前にこのようなものが作られ、今もなお、現役で天体を見ることが出来るのも素晴らしい。今後も清和高原天文台で大切に見守って行って欲しい。」と話されていました。



熊本星を見る会の有志の皆さん

『ONE PIECE』×人形浄瑠璃 清和文楽プロジェクトだより



今回の『ONE PIECE』×人形浄瑠璃 清和文楽「超馴鹿船出冬桜(ちょっばあふなでのふゆざくら)」の制作の目的のひとつが「後継者の育成」です。先日の特別公演にも清和小学校、清和中学校、矢部高校と町内から多数の児童・生徒に参加していただきました。今回の特集は、今年度、矢部高校普通科2年の「探求の時間」において清和文楽について学習し、先般の特別公演にも参加していただいた生徒4名に特別公演に参加した際の感想や探求の時間で清和文楽を選んだきっかけなどを伺ってきました。

【西山椎那さん】 清和文楽に関わることが出来るまたとないチャンスだと思います。探求の時間で清和文楽を選択しました。ワンピースということだけあって練習は大変でしたが、本気で成功させたいという気持ちになりました。人形を遣っている時間が楽しかったです。

【宮本快湊さん】 新しく清和文楽を知ることが出来たらと思い選択しました。本番はとても緊張しました。自分ひとりでは操作は無理だけど、3人1組の操作は難しかったです。グループ全体としてもミスは許されなかつたと思いますが、その分終わった後は達成感がありました。

【藤川凜璃耶さん】 小学6年生のときにやったことがあったので参加したが難しかったです。練習はきつかったが達成感がすごく、普通に生きていたら会えないような方とも会えて楽しかったです。

【佐藤文哉さん】 練習は大変だったが、それを超えるような達成感があって楽しかったです。あまり緊張をすることなく本番が出来ました。先生の勧めで清和文楽を選択したが、やっていくうちにもっと魅力を発信したいと思いました。



清和文楽を学んでいる生徒の皆さん

問合 (清和文楽及び清和文楽講座について) 清和文楽館 ☎ 82-3001 [火曜日休館]
(プロジェクトについて) 商工観光課 ☎ 72 - 1115